



地震の影響で水が濁り給水車が出動

災害に備える



年始早々から除雪作業に追われました

昨年7月の集中豪雨、年末年始の大雪災害に3月の東日本大震災と、町では大きな災害が続きました。これらの災害で、町の皆さんから寄せられた相談内容などをまとめてみました。もう一度、災害に対する備えを考えてみましょう。

停電！その時…

▼電話

黒電話と違って、最近の電話機は電源を必要とするため、停電時は使用できなくなります。また、携帯電話も基地局の障害で圏外になり、使用できないことがあります。

通信手段がない時は、慌てずに、まず近所の方に声をかけ、お互いに安全を確認し合います。

火事や救急の際は、地元消防団へ連絡し、無線で要請してください。

電話回線が回復しても、災害時は回線が混雑してつながりにくくなります。家族の安全が心配でも、焦らずにまず自分の身の安全を確保することを優先しましょう。

▼暖房器具

ファンヒーターは停電時に使用できず、また今回の震災直後は、電気が復旧した後も灯油が不足し、暖房に困りました。

停電時でも使用できる反射式ストーブや、電気だけで使用

用できる電気ストーブ、またまきストーブなどを備えておくことと安心です。

▼医療器具を使用している場合

在宅酸素呼吸器や、たん吸引器など、日常的に電動式の医療器具を使用している人にとって、長期間の停電は命に関わります。このような器具を使用している人は、できるだけ自宅に発電機を備えておきましょう。

また、災害時の対応を、日ごろから主治医や医療器具の業者と相談しておきましょう。

通院の手段がない

▼日常的に飲む薬

震災後、燃料不足で町外へ通院できなかったり、被災者に対応するため病院が外来を休診するなど、一部の方は薬の入手が難しくなりました。

このような時、かかりつけの薬局では、医師の処方箋がなくても緊急措置として薬を処方できることがあります。

食料、日用品が手に入らない

▼食料品

停電で電気炊飯器が使用できないため、パンや麺類が一

時的に品薄になりました。しかし、非常時でも米は比較的

入手しやすく、また、おかゆにする乳児から高齢者まで対応できます。みそ汁や漬物などと合わせれば十分に一食分の食事になります。ガスコンロと鍋でご飯を炊く練習をしておく和良好的でしょう。

また、カセットコンロやガスボンベを備えておくことと安心です。

▼乳児用粉ミルク

震災後、粉ミルクが不足しました。町内では粉ミルクを取り扱っている店舗が少なく、一層入手が困難だったよう

です。

粉ミルクだけで育児している場合は、ある程度の量は常備しておくよう心がけましょう。また、赤ちゃんの月齢によつては離乳食でカバーできる場合もあります。保健センターの保健師や、栄養士に相談しましょう。

▼紙おむつ

昔は、大人も子どもも布おむつを使用していました。紙おむつに比べれば不便ではありませんが、非常時にはタオルや手ぬぐいなどを重ねた布おむつを使ってみましょう。おむつカバーがあると便利です

大切なのは近所や地域の人が

が、ない場合はレジ袋などのビニールを適当な大きさに切つて敷くだけでも漏れを防ぐことができます。

災害が発生した時、「今、ここで」助けの手を差し伸べられるのは、近所や地域の人です。情報連絡や消火活動、被災者の救出など災害を乗り越えるためには、地域でのお互いの協力が欠かせません。

身体の不自由な人やお年寄りを優先にし、「自分の町は

自分たちで守る」を合言葉に防災活動に取り組みしましょう。

ご注意ください 悪質商法

震災後、県内で実際に次のような事例が発生しています。

★見知らぬ業者が訪れ、「地震で瓦が落ちているので修理が必要だ。すぐに屋根の修理工事をした方がよい」と強引に勧誘され、契約してしまつた。

★大きな余震があつた後、「地震関連情報」とのタイトルの

また、処方箋を病院からFAXで受け取り、近くの調剤薬局で処方してもらえる場合もあります。

これらの場合、ふだん飲んでいる薬がよく分かる「お薬手帳」が役に立ちます。日ごろから、「お薬手帳」で自分が飲む薬を管理しておきましょう。

▼人工透析をしている場合

大雪災害では倒木などで交通網がマヒし、震災では燃料不足で通院する交通手段が乏しくなりました。

県内の人工透析ができる医療機関は限られています。事前に病院の近くに宿泊できる場所を探しておいたり、緊急時には入院できるか主治医と相談しておくこと、日ごろから考えておくことが大切です。

メールが届いた。クリックしたら、出会い系サイトに登録され、法外な金額を請求された。

少しでも不審に思う場合は、震災に関連する悪質商法110番（国民生活センター ☎ 0120・214・888 毎日10時～16時）へご相談ください。

悪質商法については、岩手県立県民生活センター（☎ 019・624・2209 平日9時～17時30分、土日10時～16時 祝日休み）でも相談を受け付けています。

確認しておこう！ 葛巻町避難所一覧表

	施設名	対象地区
1	吉ヶ沢小学校	吉ヶ沢
2	吉ヶ沢児童館・ゆきわりそう	
3	土谷川生活改善センター	土谷川
4	山地酪農研修センター	
5	元木生活改善センター	元木
6	小屋瀬小学校	
7	小屋瀬中学校	小屋瀬
8	小屋瀬農村センター	
9	さくら荘	
10	田代コミュニティセンター	田代、平船
11	旧小田小学校	小田
12	小田林業研修センター	
13	すみれ荘	星野、馬場
14	星野生活改善センター	
15	葛巻中学校	田子
16	田子ふれあいセンター	
17	コミュニティ防災センター	城内小路
18	葛巻小学校	城内小路、下町、新町
19	新町自治会館	
20	総合センター	
21	社会体育館	浦子内
22	象鼻会館	
23	茶屋場自治会館	茶屋場
24	葛巻高等学校	
25	高砂荘	
26	旧馬淵小学校	江刈馬淵
27	遠矢場林業研修センター	遠矢場
28	五日市小学校	車門、山岸、栗山、五日市、栗山
29	五日市生活改善センター	
30	福寿草	
31	車門公民館	
32	立の神会館	寺田、泉田、小苗代、中村
33	江刈中学校	
34	江刈農村センター	橋場、大沢、野中、寺田
35	江刈小学校	
36	橋場生活改善センター	橋場、大沢、野中
37	上外川林業研修センター	上外川
38	旧江刈川分校	江刈川
39	水車の里交流館	
40	境ノ沢集会場	下冬部、田屋、根地戸、市部、境ノ沢、境内、名前端
41	冬部生活改善センター	毛頭沢
42	毛頭沢林業研修センター	
43	旧田野小学校	前里、正路、触沢、田部馬淵、寺畑、上田野
44	田野構造改善センター	